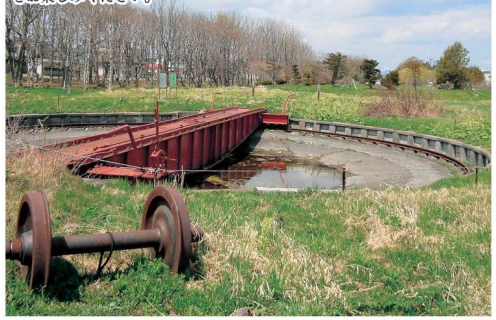
ＪＲ花咲線沿線・旧国鉄標津線（厚床支線）跡地を利用したフットパス（歩く道）は、牧草地や鉄道用鉄橋を歩き、北海道ならではの雄大な景色を味わっていただくコース（道）です。各コースの移動にはＪＲ花咲線・路線バスを活用し、鉄道遺構・名勝・名跡・映画撮影ロケ地などをお楽しみください。



2016年の旧根室標津駅転車台

フットパスコース利用上の注意

- フットパスはあるがままの自然を楽しむ道です。ぬかるみや窪みなど足場の悪いところがありますので、細心の注意を払って下さい。また、落枝や倒木にも十分注意して下さい。
- 熊・スズメバチ等の野生動物が出没します。熊鈴を所持するなど万全の対策をして下さい。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 火気厳禁です。
- 動植物の採取等はおやめ下さい。
- コース外に出ないで下さい。特に牧場内では、家畜伝染病予防のため、注意をお願いします。

フットパス・ロングトレイル広域化検討会

事 務 局：北海道根室振興局産業振興部商工労働観光課
〒087−8588 北海道根室市常盤町3丁目28番地
電話（0153）23−6830（直通）
ホームページ：http://www.nemuro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/srk/kanko/index.htm

発行：大地みらい信用金庫・一般財団法人大地みらい基金

2019年3月

北海道根室JR花咲線 国鉄旧標津線をたどるフットパス

Nemuro Footpath Guide Map

旧奥行臼駅構内

上武佐フットパス 全長2.5㎞（約1時間）

Kamimusa Footpath（2.5㎞、1h）

なかしべつ体験観光ネットワーク

[代表] 瀬波秀人（セナミヒデヒト）
〒086−1153 北海道標津郡中標津町桜ヶ丘2−54−4
TEL：090−8274−9955
E-mail：se-na-mi@wmail.plala.or.jp

上武佐ハリストス正教会

1919（大正8）年、標津原野武佐教会として建立（現会堂は昭和53年建立）され、根室および北方領土に深い関係を持ちます。開拓当初、農繁期の託児所や乳牛貸付制度など地域にも貢献しました。イコン画家山下りんの十二大祭図があります。

『遙かなる山の呼び声』

（はるかなるやまのよびごえ）

1980（昭和55）年公開の日本映画。『幸福の黄色いハンカチ』の山田洋次が監督・脚本し、高倉健、倍賞千恵子などが出演しました。酪農地帯の中標津町を舞台としており、旧上武佐駅も映画のワンシーンに登場しました。

旧上武佐駅跡

平成元年に標津線とともに上武佐駅も廃止となりました。現在でもホームが辛うじて残っています。1944（昭和19）年から1954（昭和29）年まで、中標津町開陽から上武佐駅まで通じる殖民軌道根室線（2次）が運行していました。

標津線路跡フットパス 全長9.2㎞（約3時間）

Shibetsu Footpath（9.2㎞、3h）

標津町観光協会

〒086−1632 北海道標津郡標津町北2条西1−1−3
TEL：0153−82−2131 FAX：0153−82−1787
mail：info@visitshibetsu.com

こもれび街道

標津線のあらまし

標津線は広大な根釧原野の内陸開拓を使命として生まれた総延長116.9キロに及ぶ大な鉄路です。明治以来、大正、昭和と北海道の開拓は各地で順調に進められましたが、およそ50万ヘクタールに及ぶ根釧原野は、寒冷な上に夏期間しばしば海霧によって日照が閉ざされるため、不毛の地として取り残されてきました。開拓の手が奥地へと伸ばされたのは、大正時代末期になってからでしたが、交通路は原野を刈り分けた細い道しかなく、ようやく実った作物の輸送にも困る状態にありました。こうした中、馬車鉄道とも呼ばれる殖民軌道の敷設を経て、標津線は原野開拓の有力な決め手として建設が進められることとなりました。1933（昭和08）年12月、厚床から西別間の開通を皮切りに、順次路線を延長し、1937（昭和12）年10月30日、標茶から中標津を経由し、根室標津駅までを結ぶ路線が完成したことで、全線開通となりました。標津線の開通によって、幾多の苦難を乗り越えてきた原野の人々は、蒸気機関車の吹き上げる黒い煙に勇気づけられ、原野を拓く手に一層の力を込め、新たな移住者も続々とやってきました。以後、平成元年4月29日の廃線の日を迎えるまで、標津線は地域の生活、産業を支え続けてきたのです。

ポー川史跡自然公園

ポー川史跡自然公園は、一万年の昔から連綿と人の暮らしが続いた伊茶仁カリカリウス遺跡と、尾瀬ヶ原の3分の1の広さを持つ天然記念物標津湿原の、2つの国指定文化財が保存されています。

国鉄形ディーゼルカー キハ22 168

1958（昭和33）年から北海道向けに設計された車両で、その後の耐寒設計の基準となり、334両が道内及び東北地方で活躍しました。この車両は標津線廃止後に標津町に寄託され、川北駅跡地で保管されています。

ミズバショウの群生

標津町

国鉄形蒸気機関車 C11 224

タンク式のコンパクトな蒸気機関車で、標津線の初期の輸送を支えた車両です。1975（昭和50）年に最終運転を迎え、開拓の功労車として永久保存（国鉄より貸与）することとなりました。

旧根室標津駅 転車台

根室標津駅に付属した転車台。始発・終着駅であった駅の名残りとなっています。手動により回転する構造が特徴で、2002（平成14）年に標津町指定文化財となり、保存されています。

阿寒バス

TEL 0154−37−2221
http://www.akanbus.co.jp/
●標津際茶線

参考・引用：なかしべつ上武佐フットパス 根釧原野 歴史の恵み自然の恵みを楽しむ／中標津町体験観光連絡協議会／標津町内の鉄道遺産 根釧原野を駆けた標津線の足跡／標津町ポー川史跡自然公園／別海町役場ホームページ・別海町教育委員会生涯学習課／別海町／明輝バス・厚床バス・初田牛バス・別当賀バスマップ／酪農家集団AB-MOBIおちいし棒バス・浜松てスマップ／落石マリンビジョン協議会

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000、電子地形図20万及び電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号 平30情複、第1485号）

中春別SL散策路
全長1㎞（約15分）
Nakashumbetsu Footpath（1㎞、15min）

根室フットパス・落石シーサイドウェイ
Ochiishi Seaside Way

落石マリンビジョン協議会
落石漁業協同組合内
〒088−1781　北海道根室市落石西395−2先埋立地
TEL：0153−27−2121　FAX：0153−27−2537
E-mail：ocikanri@ruby.ocn.ne.jp

根室交通
TEL 0153−24−2201
http://nemurokotsu.com/
●中標津線
●中標津空港

★根室フットパスの各パスを歩く際は、ルートマップ（各200円税込）をご購入下さい。『通行証』となりますので、必ず1人1部携帯してください。ルート、ご利用の詳細は実際のルートマップにて、ご確認お願い致します。

根室フットパス
Nemuro Footpath

酪農家集団AB-MOBIT
明郷　伊藤☆牧場内
〒086−0061　北海道根室市明郷101
TEL：0153−26−2798　FAX：0153−26−2141
E-mail：gyuu@iris.ocn.ne.jp

参考・引用：なかしべつ上武佐フットパス 根釧原野 歴史の語り合自然の息吹を楽しむ／中標津町体験観光連絡協議会／標津町内の鉄道遺産 根釧原野を駆けた標津線の足跡／標津町ポー川史跡自然公園／別海町役場ホームページ・別海町酪農発祥の地／別海町酪農資料館／別海町／別海バス・厚床バス・初田牛バス・別当賀バスマップ／酪農家集団AB-MOBITおちいし号バス・浜松バスマップ／落石マリンビジョン協議会

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000、電子地形図20万及び電子地形図（タイル）を複製したものである。（承認番号　平30情複、第1485号）